

# 庁議の概要

開催日 平成 23 年 2 月 7 日 (月)

## ◎項 目

### 1 各部署等の動向について【各部署等】

## ◎内 容

### 1 各部署等の動向について【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署の今週の動きに関する資料を配布の上、概要説明を行った。

(知事)

- ・時代の大きな流れに乗っていけるかどうか、その県の先々の栄えに関わってくる。高度経済成長期に太平洋ベルト地帯を中心とした工業化の流れに乗ることができた香川県・愛媛県・徳島県と、乗ることができなかった高知県の差は如実に開いている。今後も、こういう大きな流れに身を沿わすことができるかどうか非常に重要だろう。
- ・具体的には、例えば観光分野では、単なるリゾート観光から心の癒やしを求める滞在型体験型観光へのニーズにどう対応していくのか、欧米よりもアジアとの交流人口が圧倒的に多くなる時代の流れの中において、どうやって本県の観光を位置付けていくのか。食料自給率向上の流れの中で、工業化から自然回帰の流れにうまく乗っていければ、本県は資源大国になることができるかもしれない。これから都市も含めて人口減少が急激に進んでいく中で、本県がその先陣を切っていくことができればその流れの恩恵を受けることができるかもしれない。国の農業再生に向けた基本方針の策定に、いかに初めから本県の意見をを通してもらい、また、そのプロジェクトを本県に呼び込んでいくことができるか。福祉分野において、例えば地域過疎の医療再生プロジェクト等を真っ先に本県に呼び込むことができるか。国家的な新エネルギーの研究やプロジェクトを丸ごと誘致できるか。こういった大きな時代の流れの中で、本県はどのようなポジションを取っていくのか、その大きな流れにしっかり乗っていけるかどうか、各部署の分野の中でより一層意識していただいた取り組みを今から始めておくことが重要だろう。
- ・また、人口問題対策プロジェクトチームで検討すべきことは、人口減少、高齢化という問題に限った対応を考えるにとどまるものではなく、今後都会においても急激に人口減少、高齢化の状況に陥っていくという世の中の流れの中での本県の有り様を考えることだ。大所高所からの議論、また、色々なことを気軽に議論しながら考えていただきたい。部局長が大局的な視点でもって各分野を導いていくことが非常に重要だ。
- ・まずは、平成 23 年度の国の施策を本県に生かし切ることができるよう取り組んでほしい。